

平成29年度第三回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日 時 平成29年9月19日(火)14:00~15:10
- ② 場 所 伯寿の郷 ユニット会議室
- ③ 参加者 川上富子様、秦和男様、佐伯和子様、河野友香様、小松原祐二様
谷上相談員、坂口リーダー
- ④ 書記 谷上

(内 容)

1.入所者代表川上様より状況を伺う

生活記録の説明の前にご利用者代表の川上様よりお話しを伺う。

坂口リーダー「川上さん、ここでの生活を皆さんが聞きに来られています。どうでしょうか。ごはんもしっかり食べていますか。」

川上様「おいしいですよ。全部頂いてます。ここで生活できてよろこんでいます。」

坂口リーダー「夜はどうですか。寝れていますか。」

川上様「寝れています。大丈夫ですよ。」

秦様「川上さんは赤屋の方ですか。入所されてどれくらいになりますでしょうか。」

谷上相談員「入所されて1年以上は経っていると思います。川上さん、ご自宅はどちらですか。」

川上様「赤屋です。郵便局に出ていました。連れ合いも郵便局で勤めていました。」

坂口リーダー「川上様が一番元気な時を知ってられている赤屋の方が、今の川上様を見られると少し寂しく思うかもしれません。そういうギャップを少しでも埋めて安心してもらう事が出来るといいなと思っています。」

川上様はとてと遠慮をされる方です。家族には迷惑をかけてはいけないという想いがとてと強く健康に関する知識などにはとてと興味を持たれます。家族様も積極的にお越しいただき、良い関係性を築けているように思います」

川上様「孫はかわいいけんね。病院の先生がね、「あなたは元気ですりが負けた」と言って笑いました。」

坂口リーダー「川上様はこのように冗談もとてと達者で、支援している職員が逆に川上様に元気を頂いている事もあるくらいです。」

川上様は体調面を考慮し、途中退席とする。

2.生活記録について

ユニットご利用者の生活記録について谷上相談員より説明を行う。一時帰宅、食事作り、外出報告等の説明を行う。

3.地域交流について

地域交流について、安来第2中学校との交流活動等について、谷上相談員より説明を行う。

4.内部研修について

7月、8月の内部研修について谷上相談員より説明を行う。

全ての説明を終えたところで、参加者の方からの質疑応答、追加説明等を行う。

坂口リーダー「飯橋様ですが、毎月定期的にご自宅に帰れるようになってから、とてと体調も良く、ご飯も自分で食べる事が出来るようになりました。本人様にとてと家の大切さ、大きさを実感しています。施設にいる事で意欲が低下してくることも考えられるため、積極的に外出もする事を心がけています。明るい場に出かける事で、本人の気持ちも明るくなる、そんな支援が出来るのとてと良いなと考えています。」

坂口リーダー「地域との繋がりについてですが、現在、谷上を中心に動いてはいますが、ユニットとしても一緒に協力しながら進めていきたいと考えています。地域との繋がりをどう作っていくか、暮らしの継続もそうですが、新しい繋がりも作っていかないといけないと感じています。」

小松原様「新しい繋がりを作ると言いますが、なかなか難しいと思います。安田地区の老人クラブには、約80名の会員がいますが、そういった中でのご利用者との交流や、施設の説明、勉強会も良いかもしれませんね。」

坂口リーダー「老人クラブはどのような活動をしているのでしょうか。」

小松原様「参加者の健康維持管理や、スポーツなども行っています。」

坂口リーダー「たとえば、その会場をユニットの交流スペースなどで行う事もかのでしょうか。」

小松原様「どうでしょうか。安田には老人センターもありますし、何かしらの理由がない限り、難しいですかね。」

小松原様「谷上さんが先ほど、平均入所期間が約4年をおっしゃておられましたが、ここでお亡くなりになられる事もあるとのことですか。」

谷上相談員「退所される方のほとんどが、施設でお亡くなりになられるか、長期入院のため退所されています。特養と呼ばれる施設では看取りも行っている施設もあり、伯寿の郷でもご本人、ご家族の希望があれば、施設で看取りを行っています。」

小松原様「そうなんです、驚きました。と言うのも、私はここに入所している方は幸せだと思うのです。以前も言ったかもしれませんが、介護保険が出来た時、その時介護は社会でみますので、安心して働いて下さいと言われていました。しかし、今となっては施設はもう増えない、なかなか入れないと聞いています。それで、自宅で家族の介護をして下さいと変わってきている。家族の形も変わる中で、本当にそのような事が出来るのか、わかりません。」

河野様「その通りだと思います。ですので介護予防が大切であり、私たちとしても積極的に情報提供をしていかないといけないと感じています。自宅の介護で出来ないところを施設であったり、在宅サービスで補い、地域にとって何が必要なのか考えていかないといけないと感じています。」

5.次回は11月21日(火)14:00～

